

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和6年11月12日
第18号



11月8日 授業公開（2～4限目）

たくさんの保護者の皆様に来校いただきました。ありがとうございました。

【保護者からの感想】（H&S より抜粋）

- ・ 2限目、5・6年生共に素敵な歌声でした！がんばって練習していたと思います。本番が楽しみです。合唱のハーモニーが素晴らしく、たくさん子どもたちでしかできない感動だなあと感じました。大人数の子どもたちを指導される先生のご苦勞に感謝です。最後の合唱動画撮影オッケーの配慮は感謝です。平日休みが取れない保護者が動画で子どものがんばる姿が見られ、親も子ども日々の糧になると感じます。
- ・ 2年生の「遊びランド」、とても楽しそうな授業で子どもたちが一生懸命でよかったです。一緒に遊べて楽しかったです。
- ・ 子どもの間違えた答えで授業が広がり、楽しい授業でした。子どもたちの楽しそうな姿をみることができ、とてもうれしかったですし安心しました。
- ・ 3年生図工の授業でそれぞれの良い所を先生がたくさん褒めて回ってくださったので、みんながやる気になって一生懸命取り組んでいる姿を見てうれしくなりました。
- ・ 机に向かう姿勢がとても気になりました。字を書くとき、ほとんどの子どもが机と目が近い。視力低下につながるの、家庭もちろん、もっと日頃から気を付けさせないといけないと感じました。



家庭教育講座

8日授業公開後、15時から、ファイナンシャルプランナー 生川奈美子さんに講師としてお越しいただき、テーマ「将来の子どもの自立に大きく関わる！～正しいお小遣いの渡し方～」で講演会を開催しました。生川さんご自身の子育ての中で、子どもへのお金の教育に試行錯誤された経験を元に「小遣いを教材に親子でコミュニケーションを図ること」「小遣いで心の教育」等についてお話しいただきました。

【参加者の感想】

- ・ お小遣いのやり方ひとつで、子どもの自立につながるなんて再発見だった。子どもを信じてまずはやらせることが大事だと思った。そして「ほったらかし」にするのではなく、見守り、アドバイスを送ったり相談に乗ったりして支えていきたい。
- ・ 「ルールを決めたら親が必ず守る」、これが私ができない所です。でも生川さんの話を聞いて子どもは親が意見を変えなければ、その枠の中で自分なりにどうしたら楽しめるのか考えるようになるんだということがわかりました。「自分で決めて自分で行動したことは納得する」このことがとても印象に残りました。
- ・ 今までお手伝いをした時におこづかいを渡すというイメージしかなかったので、定額で渡すとやりくりを学ぶことができるということがわかりました。子どもが成長したときに自分でお金を管理できるように、今から子ども自身に考えていってもらうことの大切さを知ることができました。
- ・ ルールは親側が決めるのではなく、子どもと一緒に決めることが大事なんだと感じました。



